

## 令和7年度 入学者選抜学力検査問題

# 数 学 (理系 $\beta$ )

数学 I, 数学 A  
数学 II, 数学 B  
数学 III, 数学 C

### 注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子及び解答用紙の中を見てはいけません。
2. 問題は全部で4題あります。また、解答用紙は4枚あります。
3. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の枚数の過不足や汚れ等に気がついた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
4. 試験開始後、すべての解答用紙に受験番号、志望学部及び氏名を記入してください。受験番号の記入欄は各解答用紙に2箇所あります。
5. 解答は問題ごとに、指定された番号の解答用紙のおもて面にだけ記入してください。また、解答欄が指定されている場合は、解答欄の枠の中に答えを記入してください。
6. 裏面その他に解答を記入した場合、その部分は採点の対象となりません。
7. 答えのみを記入するように指定されている場合は答えのみを、そうでない場合は必要な計算・論証・説明などを省かずに解答してください。
8. 各問題の配点50点は200点満点としたときのものです。
9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。





[ 1 ] (配点 50) 次の問いに答えなさい。ただし、解答は答えのみを解答用紙の所定の解答欄に記入しなさい。

(1) 次の複素数を極形式  $r(\cos \theta + i \sin \theta)$  で表すとき、 $r$  と  $\theta$  の値を求めなさい。ただし、 $r > 0$  で、偏角  $\theta$  の範囲は  $0 \leq \theta < 2\pi$  とする。また、 $i$  を虚数単位とする。

(i)  $\left( \frac{\sqrt{3} + 1}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3} - 1}{\sqrt{2}} i \right)^2$

(ii)  $\frac{\sqrt{3} + 1}{\sqrt{2}} + \frac{\sqrt{3} - 1}{\sqrt{2}} i$

(2) 数列  $\{a_n\}$  が

$$a_1 = 3, a_{n+1} a_n - 3a_n + 2 = 0 \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

で定められるとき、次の問いに答えなさい。

(i) 数列  $\{b_n\}$  を

$$b_1 = 3, b_{n+1} = a_{n+1} b_n \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

によって定める。 $n \geq 2$  に対して、 $b_{n+1}$  を  $b_n$  と  $b_{n-1}$  を用いて表しなさい。

(ii) (i) で定めた数列  $\{b_n\}$  に対して、 $b_{n+1} - b_n$  を  $n$  を用いて表しなさい。

(iii) 数列  $\{a_n\}$  の一般項  $a_n$  を求めなさい。



[2] (配点 50) 関数  $f(x) = e^x - 1$  について、次の問いに答えなさい。ただし、 $e$  は自然対数の底とする。

- (1)  $f(x)$  の逆関数  $f^{-1}(x)$  を求めなさい。
- (2)  $f^{-1}(x)$  の不定積分  $\int f^{-1}(x) dx$  を求めなさい。
- (3)  $k$  を正の定数とする。 $x \geq 0$  に対して、関数  $g(x)$  を次のように定める。

$$g(x) = \int_0^k f(t) dt + \int_0^x f^{-1}(t) dt - kx$$

$g(x)$  の最小値を求めなさい。また、そのときの  $x$  の値を求めなさい。



[3] (配点 50)  $p, q$  は実数で,  $p > 0, q < 0$  とする。座標平面の原点を  $O$  とし, 放物線  $y = x^2$  を  $C$  とする。  $C$  上の点  $P(p, p^2), Q(q, q^2)$  について, 次の問いに答えなさい。

(1)  $\angle PQO = \frac{\pi}{2}$  を満たす  $P$  と  $Q$  の組が存在するような  $p$  の値の範囲を求めなさい。

(2) 次の条件 1, 2 をともに満たす  $P$  と  $Q$  の組をすべて求めなさい。

条件 1 3点  $O, P, Q$  について,  $\angle POQ = \frac{\pi}{2}$  である。

条件 2  $C$  上の点  $R$  について,  $R$  が  $O, P, Q$  のいずれとも異なるならば  $\angle PRQ \neq \frac{\pi}{2}$  である。



[ 4 ] (配点 50) 命題 P, Q を次のように定める。

命題 P  $\alpha, \beta, \gamma$  を  $\alpha + \beta + \gamma = 2\pi$  を満たす正の実数とする。  $\cos \alpha + \cos \beta + \cos \gamma = -1$  ならば,  
 $\alpha, \beta, \gamma$  のうちいずれかが  $\pi$  である。

命題 Q  $\triangle ABC$  の重心を  $G$ , 外心を  $O$ , 外接円の半径を  $R$  とする。  $R = 3OG$  ならば,  $\triangle ABC$  は直  
角三角形である。

このとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) 命題 P が真であることを証明しなさい。
- (2) 命題 Q が真であることを証明しなさい。必要ならば, 命題 P が真であることを用いてよい。



